

※この報告書の〈受講者の声〉までが、なごや環境大学のウェブサイト上に掲載されます。

様式2
(2024年度)

事業実績報告書

講座番号	E-06	講座名	水の歴史資料館で学ぶ名古屋の下水道と大雨・防災
記載日		団体名・企業名	名古屋市上下水道局 調査課 水の歴史資料館

〈講座全体の概要〉(300字程度)

日本で最初に活性汚泥法による下水処理を始めた名古屋の下水道。下水道は、私たちが使った水(汚水)をきれいにし、川へ戻すという、水環境を守るという役割以外にも、大雨による浸水からまちを守り、私たちの安心・安全な生活を確保するといった大切な役割を果たしています。下水道について、下水道に流してはいけないものの実験や、下水道と大雨・防災に関する座学、施設見学などを通じて、学習でき、ご家庭や地域の防災力アップにもつながる講座としました。



※写真1の説明

8月3日 第2回 大雨からまちを守る
大雨対策などについて学びました。

※写真2の説明

9月7日 第3回 災害時のトイレ対策
災害用トイレの組み立てを体験しました。

〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)

受講される方々の学習意欲や防災意識が高く、質問される方も多く、企画・運営する側にとっても、やりがいのある講座です。計3回の講座で、下水道全般について学べるため、全回数受講された方もいましたが、個別受講も可能としたため特定の内容を目的に受講された方も多くいました。

幅広い年齢層の方に受講していただきたいために、小学4年生以上を受講対象としましたが、多少難しい内容となっていましたので、小学生については保護者同伴が必要としました。

〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3~5点、計350字程度)

(第1回)・名古屋の下水道の歴史がわかり勉強になりました。子供もたのしんでいたようです。・自分が知りたかった情報についてくわしく知ることができた。・名古屋市の水への取り組みを理解できました。(第2回)・過去の災害の貴重な話がとくに心に残りました。・実体験もおりまぜての、とてもわかりやすいお話しでした。・現場の方の生の話しも聞けて勉強になりました。(第3回)・学区の災害対策の表で備蓄の表が参考になった。・勉強になりました。災害時に役立ちそうです。仮設トイレは知らないを組み立てるのは難しいですね。・組み立てまではしたことがなく、やはり男性の手が必要だと感じました。